



旧7町の町長により、テープカットが行われました

豊かな暮らし

豊かな個性

豊かなこころ

三豊市誕生

輝かしい新春を迎えた平成18年1月1日、旧高瀬町・山本町・三野町・豊中町・詫間町・仁尾町・財田町の7町が合併し、ついに「三豊市」が産声をあげました。

1月1日午前9時、三豊市役所で関係者約200名が参加して開市式が開催されました。旧7町の町長より、市長職務執行者への事務引継ぎなどが行われた後、本庁舎玄関前で銘板の除幕やテープカットを行い、三豊市の新しい門出を祝いました。

1月4日には、各支所で開庁式が行われ、豊かな暮らし・豊かな個性・豊かなこころがあふれるまちを目指して、「三豊市」は本格的なスタートを切りました。

三豊市の雄姿実現を目指して



三豊市長職務執行者

山 地 宏

平成18年の新春を迎え、おめでとございませぬ。

とりわけ、時同じくして旧高瀬町・山本町・三野町・豊中町・詫間町・仁尾町・財田町の7町合併による、新しい三豊市の誕生でもありまして、誠に同慶の至りであります。

年頭にあたり、心新たに三豊市の発展ならびに市民皆々様の前途に、幸多かれと念じ上げますとともに、ここに至るまでの合併協議会会長はじめ委員各位、職員や関係者の格別のご尽力また、合併にご協力賜った住民の皆様、心よりお礼申し上げます。

1月1日、本庁舎玄関前

において、旧町の町議会議長による銘板の除幕、町長による開市式のテープカットで、新市の誕生を祝い、思いを新たにした三豊市は、人口約7万2千人、面積約222平方キロメートル。田園都市の素顔はできましたが、これから立派な魂を入れなければなりません。

このたびの合併は、地方分権に伴う三位一体改革によつて、より広く地方の発展と、住民の快適な暮らしの確保など、福祉の向上を目指す手段であり、単なる合併を目的としたものではありません。

今なお、政治、経済、社会情勢の変動著しく、あらゆる分野にわたつて、改革

推進という大きな変革期。そして長寿時代と言われる一方では、人口減少時代という、これまでに経験のない状況下であり、複雑多様にして、慌しい時代の大きな節目であります。

豊かな暮らし、豊かな個性豊かなところに育まれる、明るく楽しい三豊市の創造には、美しい山・森・川・平野・海の自然資源、景観に旧各町が大切にしてきた歴史文化、伝統などの地域特性を生かし、かつ、積極的な産業経済の振興等に、知力

情熱、努力が不可欠であり、職員各位も公僕の使命感に燃え、誠実な職責の遂行、職員相互の融和、そして住民の参加、連携を深めて、自助、共助、公助が相まつてこそ、目的が果たされるのであります。

今あるものの責務として、一体となつて至難な課題を克服し、後世の人たちから讃えられるよう三豊市の雄姿実現に、市民の皆様の大いなる、ご理解とご支援を切望してやみませぬ。

終わりに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げて、挨拶いたします。